



船内の設備

〜アジアン・クルーズ⑧

初めて本格的クルーズに参加した私にとって、今回の総トン数七万トンの客船は豪華な

型客船で設備も非常に良いと思えた。しかし何回もクルーズに参加した人の話を聞けば、

「並」だったようである。そう言えは船長が歓迎レセプションで「我が社が所有している二十二隻の客船の中で、この船が一番小さい」と言っ



最上デッキのロッククライミング設備

いた。大型になるほど豪華で、設備も良いらしい。二十二隻の中で一番大きな客船は、今回の船の倍以上の十五万ト

という。非現実の世界を演出するのにある程度の豪華さは必要かもしれないが、私は「並」で十分。世界一周クルーズで有名なピースボートが現在使用している客船、オセアニック号は三万八千七百七十ト。これに比べれば二倍の大型客船であった。

船内の設備で一番驚いたのはロッククライミングである。船に乗ってまで山登りもどきのことをしなくてもと思うのだが、世界各地に就航している客船のほとんどにこの設備がある。最上階の十一階にあるロッククライミング、高い洋上での岩登

「並」だったようである。そう言えは船長が歓迎レセプションで「我が社が所有している二十二隻の客船の中で、この船が一番小さい」と言っ

という。非現実の世界を演出するのにある程度の豪華さは必要かもしれないが、私は「並」で十分。世界一周クルーズで有名なピースボートが現在使用している客船、オセアニック号は三万八千七百七十ト。これに比べれば二倍の大型客船であった。

船内の設備で一番驚いたのはロッククライミングである。船に乗ってまで山登りもどきのことをしなくてもと思うのだが、世界各地に就航している客船のほとんどにこの設備がある。最上階の十一階にあるロッククライミング、高い洋上での岩登



2つのプールサイドにはジャグジーもある



いろいろな機具があるフィットネス・センター

りほだいたい味があってもいいかもしれない。なお、ほかの超大型客船にはアイススケート場があるものもあった。スポーツ関連ではこのロッククライミング以外にミニ・ゴルフ場、二つのプール、卓球室、約八百坪のジョギング・トラック、インストラクターつきフィットネス・センターなどがあつた。また、その他の設備では、ヘアサロン、マッサージ・テラピールーム、サウナ、図書室、麻雀

クルーズの資料を丁寧に読んでいたら、六日目の船内新聞の片隅に「キッチンやエンジンコントロール室など船の裏側を見るツアー」の案内があつた。十五人限定、一人百五十とある。

私はクルーズを楽しむというよりどぶねずみのように船内を歩き回った。しかし一番見 たかったのは、千八百人の乗客の食事を用意するキッチン、船倉の機関室、七百人を超える乗組員用の食堂などであつたが、そのような舞台裏を見る機会は残念ながらなかった。

「よし、次回までに英会話を勉強し、裏方ツアーに参加しよう」と宣言したところで、それがウソになることを自分が一番よく知っているのが情けない。

帰国して持ち帰ったクルーズの資料を丁寧に読んでいたら、六日目の船内新聞の片隅に「キッチンやエンジンコントロール室など船の裏側を見るツアー」の案内があつた。十五人限定、一人百五十とある。

英語が話せないこともあり、キッチンなどを見せてもらえないかと質問することもせず、また毎日の船内新聞をきちんと読まなかったことが悔やまれた。